

RCEP、11月調印へ

前回、6月にも調印かと言ったがこれはすこし先ばし過ぎていたようだ。

遅れていたASEAN首脳会議は、6月26日にTV会議でおこなわれたが、RCEP首脳会議やASEAN+3などの首脳会議は開催されなかったようだ。

RCEPは、23日に閣僚中間会合をTV会議で開催し、共同声明を発表した。首脳会議ではないが共同声明の発表ということで実質的な交渉というより、現状の確認と政治的意思の発表ということになる。内容の主要なポイントは「本年にRCEP協定に署名するとコミットメントを再確認」、「RCEPがインドに対して引き続き開かれていることを強調」の2点であり、それ自体は昨年首脳会議での合意の再確認である。しかし2020年中、具体的には11月のASEAN首脳会議に合わせてRCEP首脳会議が開催されそこで調印が行われることがいよいよ具体化していることは確かである。またインドについては、もちろんインドが復帰を希望すればいつでも参加できるような枠組みは用意される（従って0から再交渉する必要はない）としても、15か国はインド抜きで調印するというのもほぼ確定に近いのではないか。ASEAN諸国がその方向であるようであるし、オーストラリアもどうもそのようである。そうすると日本が抜かれることははなはだ困難になりそうだ。

条文が未公開でなんともわからないが発効要件はどうなるであろうか？CPTPPのように参加国の数だけで決めるのか？TPPのようにGDP条項ははいるのか？

Author 鈴木恒久 元東京税関調査部長 大蔵省関税局企画課では5年わり関税改正に従事。国際調査課長補佐として3年間、外国の関税・税関制度の調査・研究に従事。他に税関研修所教官として3年間、税関職員の教育に従事。